

議会だより

NO.16

 吉野川市



目次

代表・一般質問……………P 2	市民のページ……………P14・15
議案の審議から……………P 8	市民の皆さんへの募集……P15
クイズ……………P14	

「食前のお勉強、学ぼう園にて」住友 徳(川島町)

■発行／吉野川市議会
■住所／〒776-8611
■TEL.(0883)22-2241

■編集／議会広報特別委員会
徳島県吉野川市鴨島町鴨島115番地1
■FAX.(0883)22-2242

2008.11.25

代表・一般

ここが聞きたい

質問

9月議会定例会では8名の議員が代表・一般質問を行いました。

●の質問を中心に取り上げました。

代表質問

① 栗原 五 男 議員

● 教育施設整備について

(1) 幼稚園・小学校のグラウンド芝生化について、教育委員会の考え方は

(2) 耐震改修計画の進捗状況と今後の予定は

(3) 小学校プールの修繕予定は

○ 観光行政の取り組みについて

② 田村 修 司 議員

○ 頑張る地方応援プログラムについて

● 下水道事業について

③ 高木 純 議員

● 平成16年12月議会の市長所信表明について

○ 本市特産品の全国PRについて

○ 人事方針について

○ 給食センターの改築について

一般質問

④ 後藤田 哲 夫 議員

● 環境問題について

(1) 6月議会一般質問の内容より再度質問

(2) 平成21年4月1日より、家庭

用一般廃棄物を中央広域環境センターへ持ち込むための準備は

(3) 中央広域環境センターへの進入路について

(4) 事業系ゴミ収集について

(5) 事業系ゴミの許可について

○ 公開条例について

⑤ 福岡 正 議員

● 老朽化した東消防署建て替えについて

○ 幼稚園の完全給食化について

⑥ 岡田 光 男 議員

● 吉野川市文化研修センターについて

(1) 使用料について

(2) 駐車場の増設は

(3) 談話コーナーの照明増は

○ 高額医療費について

○ 学校の統廃合について

⑦ 岸田 秀 樹 議員

○ 安全安心のまちづくりについて

● 行財政改革の取り組みについて

⑧ 藤原 一 正 議員

○ 指定管理者制度について

● こうつの里の今後について

○ 行財政改革について

○ 安全安心のまちづくり

代表質問



栗原 五 男 議員
(薫風会)

教育施設の芝生化は

(質問)

大切さは十分認識している

(答弁)

質問 幼稚園・小学校

のグラウンド芝生化は子どもたちの心身の健康発達に非常に良いと多くの議員が賛同し、勉強して推進を促しているが、教育委員会としては芝生化に対してどのように考えているのか。また牛島幼稚園への芝生の植えつけを保護者とともにしたが、保護者会が教育委員会に参加を要望したにもかかわらず、なぜ参加しなかったか。またその後の芝生の育成状況等をどう把握しているのか。

学校耐震改修計画の進捗状況と今後の予定と国からの補助金が多いうち、どこまでできるのか、

また今後統廃合が進んでいくと思われる小学校・中学校は統合と耐震どちらが優先するのか。小学校プールの修繕予定はどうなっているのか聞きたい。

教育次長

次代を担う

子どもたちの育成を考えると、ライフスタイルの変化に伴い、運動不足、体力低下が深刻な問題になっている。幼児期から少年期において、豊かな遊びの経験が以後の健康な生活を習慣づけるともいわれている。子どもたちが遊びたくなるような環境づくり、芝生のやわらかさや心地よさを生か



田村修司 議員
(清友会)

下水道事業について見直しは

(質問)

経済性を考慮した計画

(答弁)

質問 排水処理について、本市では、公共下水道、特定環境保全公共下水道、農業集落排水と3つの事業があり、その成り立ち、補助のあり方もまちまちであることから、料金体系のみならず、多くの不合理が生じている。しかも一般会計繰入額は、3事業合わせて6億3800万円にもなり、大きな負担となっている。本市の下水道事業はどのような姿を描いているのか。また、いつまで赤字事業を繰り返していくのか伺う。

水道部長

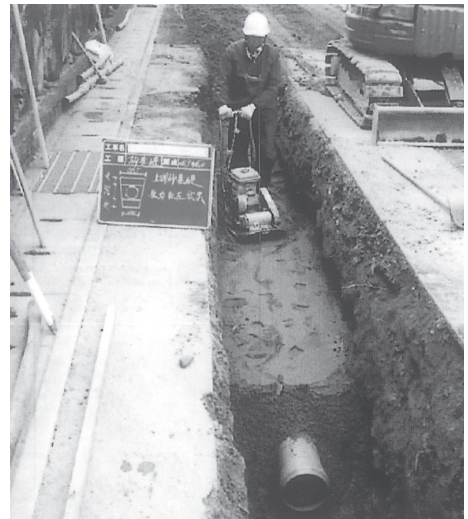
少しでもよりよい自然環境を子孫に残していくことが大きな役目であり、下水道事業が果たす役割は大変重

要である。また、現在の計画における整備完了年度は平成32年度を目標としているが、現在の社会情勢、財政状況では見通しは非常に厳しいと認識している。

再問

下水道は1トンの水を処理するのに1100円の費用がかかると聞いている。このうち利用者負担は150円、市からは約1000円の持ち出しを行っている。財政的な需要と供給のバランスで見ても非効率な事業として成立しているとは言えないのではないか。

公共下水道、農業集落排水、合併浄化槽のいずれも処理能力はほとんど



平成20年度吉野川市公共下水道
第5工区工事(鴨島敷地区)

差がないそうだが、市にとっては一番負担の少ない合併浄化槽への転換を図るべきではないのか。

水道部長

経済性を考慮したなかで、集合処理が有利な区域、個別処理が有利な区域については計画変更することは指摘の通りだと思っている。本市の汚水適正化処理構想に照らし合わせて、これまで下水道区域としてきた地域を見直し、下水道整備区域、合併浄化槽の整備区域と区分し、整備をしていく。

再々問

下水道整備では、土地の面積に応じて賦課される受益者負担金

が個人にとっては支払うのが大変で加入を見合わせている方もいる。基本料金だけでも負担が大きくなる方が毅然として打ち出すべきではないか。負担の公平化を図ることをぜひ検討すべきと考えるが伺う。

水道部長

担当課で検討する。

【その他の質問】

質問 出産祝い金の支給状況は。また、市民の声は。

答 弁

平成19年度は635万円を支給。評判はよい。

し、体力の向上を図るなど、心身ともにたくましく生きることもを育成するために幼稚園・小学校グラウンドの芝生化を保護者や地域住民の参画を得て、幼稚園・小学校と協力して推進することの大切さは十分認識している。

耐震化については、対象となる学校35棟の内昨年、今年と耐震診断を進めており本年度末にはすべての耐震診断結果が出る。

小学校プールは児童の健康増進と体力の向上を図り、併せて水泳技術の取得を目的とする重要な

教育施設で、老朽化の目立つプールは年次計画を立てて対応、小規模な補修はその都度予算化している。

【その他の質問】

質問 観光行政の集客について市の対策は。

答 弁

イベント内容を関係機関と十分協議し集客力の向上につとめた

質問 駅前菊人形を商店街に拡げられないのか。

答 弁

検討してみたい。



一部芝生化された運動場



高木 純 議員
(日本共産党)

市長の4年間は行財政改革だけ

(質問)

着実に進めるべく全力で取り組んだ

(答弁)

質問 市長就任から4年になろうとしていますが、行財政改革しか目立つものはない。

さまざまな公約を掲げたが、市長が力を入れた子育て支援では、阿波市より遅れている。他の自治体に比べ本市が誇れるものはあるのか。

組織が近々組織率100%になる見込みである。

再問

合併の混乱もあるのですが、やりきっていないことを攻めるつもりはないが、他の自治体より誇れることはない。中学校の校舎の改築は他でもやっている当たり前のこと。市民が感じているのは、ただただ財政が苦しいといつて、補助金などを削っていく、そういうことしか目につかない。財政が苦しいのは市長の責任ではないが、厳しい中でも、市長がリーダーシップをとれば、これまでにない創意工夫や発想で成果を上げている自治体は全国にある。大きな課題であるゴミ減量化の問題にしても、市民会議

の提言が出されたままで全く進展がない。市の特産品のPRにしてもやるどころか何もしていないのと同様である。何をやるにしても市長自身が強い決意を持って、自らが先頭に立ち、研究し、また実践して、時には担当職員を叱咤激励する。そ

ういった姿勢が見られない。改選時期が迫っているが、市長は再選を目指している。再選を目指すにあたって、どう考えるか伺う。

市長

先頭に立って自ら勉強し、汗を流して学んでいきたい。



市政懇談会 山瀬地区

一般質問



後藤田 哲 夫 議員

今後のゴミ収集は

(質問)

条例変更も視野に検討

(答弁)

質問 事業系ゴミ収集

運搬業者については中央広域施設組合に委託しているが本来法により市町村の許可とすべきである。県内、県外でも広域で許可している所はない、考えるべきである。鴨島町の一般廃棄物についても搬入予定だが、できる限り減量に努力して搬入すべきと考える。また事業系ゴミ、一般廃棄物については20kgを基準に鴨島町は分けているが、kgで分けている法律はどこにもない。廃棄物法等を考え修正すべきである。

さらに10以上公共施設26か所美郷、川島について

て業者見積満額の随契で契約しているが、当所から3業者に許可を出し、7町村の収集運搬の許可を出しており、現在では8業者いるが区域を決めた許可ではない。今後公共施設について公正、公平な入札をすべきである。美化センターの解体について地域住民に迷惑をかけてきた。早急に解体すべきであると考えられる。

市長

周辺住民に大変迷惑をかけてきた。一日も早く解体できるよう努力したい。



福岡 正議員

東消防署の建て替えは

(質問)

全力で傾注したい

(答弁)

質問 本市においては、市民の生命や財産を守る基質となっている中央広域連合本部と中央広域連合東消防署は併設されており、築38年が経過している。手狭で老朽化も著しく、建物はひび割れがあり、荒廃の極に達している。大きな地震が起きたら、1階に格納している救急車や消防車・通信室がつぶれたり、市民の生命や財産を守る活動が困難になると思うが、どのように考えているのか伺う。

合消防幹事会が設置された。その中で消防本部、東消防署の建て替えを始め、あり方、運営方針なども両市で協議することとしており、消防署の機能が麻痺することのないよう幹事会で意見をいいたい。

再問 今後の取り組みについて再度伺う。

市長 平成21年度には用地関係経費や設計費の予算化ができるよう全力で傾注したい。

【その他の質問】

質問 幼稚園の完全給食は。

答弁 検討したい。

防災局長 防災の拠点となるべき消防本部の機能が麻痺すれば、市民の負託にこたえられない。7月25日に両市の副市長を中心とした中央広域連



建て替え予定の東消防署



ゴミ収集車

部長 20年4月より条例変更、各市町村が許可し、施設より搬入許可としたい。

では誤解があったと反省している。適切な競争ができるよう処理したい。

事業系一般廃棄物の基準について、20kgを基準にとり、この基準はないので条例変更をしたい。

市長 許可業者について





岡田光男 議員

文化研修センターの利用料が高い

(質問)

合併協議の中で調整済み

(答弁)

質問 合併をし市となった今、展覧会など発表の場を徳島市内から本市へと移し、文化芸術を他の市町村へ発信して行こうと考えている文化団体が増えて来ている。ところが文化研修センターを3日間借りると3万円ほど要る。会期を長くとりたいが費用が高く2日間しかとれないグループもある。もう少し安くならないか。また、ロビーで展示する時の照明が暗くスポットライトなど増やすことができないか。駐車場の増設についても伺う。

教育次長 公の施設は利用する人の一定の負担のもと市民に利用度を公平に提供されなければなら

ない。同じ種類の施設間で利用上の格差が生じないような公平性の確保を図るために、施設の種別や規模、利用の公益性などを考慮して使用料や減免基準を設定している。照明については、指定管理者との協議が必要であるが前向きに取り組みたい。駐車場の増設については、顕彰碑や浄化槽の撤去が必要となり、慎重に検討したいと考えている。

再問 板野町では文化協会に入っている団体は使用料が無料だと聞く。利用料を少しでも安くするという事で2つ提案する。まず1点は土日、祝日がふだんの日の2割増しになつていて、商業



岸田秀樹 議員

行財政改革の取り組みについて

(質問)

計画は順調に推移している

(答弁)

質問 市長の責任感、決断力に期待する中で、市の将来像を見据えた行財政改革の取り組みにつ

いて伺う。
合併後、庁舎特別検討委員会でも早急に統合をするべきとの提言がある



庁舎内風景



藤原一正 議員

こつつの里の今後について

(質問)

本年度末で廃止したい

(答弁)

質問 こつつの里を今後どういった形で進めていくのか伺う。

産業経済部長 本市の一方的な判断で結論が出せる事業ではないため、大阪市と十分に協議し廃止の方向で検討したい。

第一副市長 今後のあり方を検討していくうえで、リニューアルする場合の経費、総収入に占める公費負担割合、燃料費の高騰による支出の増加、本市の財政状況、近くに類似施設がある等のことを総合的に勘案し関係先と協議した結果、本年度末をもって廃止したいと考えている。

再問 類似施設の関係

があると言っていたが、市内の4つの温泉施設と設置目的が違うという事を認識しているのか。また、廃止となった場合の事後処理をきちんと行うのかを伺う。

第一副市長 温泉施設だけでない役割もあるが経営的な観点から廃止の方向で行う。廃止となれば従業員、施設等の諸問題に関して精一杯の努力をしたいと考えている。

再々問 長い期間、大阪市と信頼関係を築いてきたので、今後も信頼関係を築いていけるのか伺う。

第一副市長 長年築いてきた大阪市との信頼関



吉野川市文化研修センター

施設でないのにおかしいのでないか。2点目、数日間通して使用する場合5時までの入館なのに夜間分を足した使用料となっており納得いかない。この2点を是正するだけでも安くとなると考えるが。

文書回答

公の施設を維持・運用するためには、土日祝日に開催する場合、人件費・物件費などに余分の経費が必要となるため2割増しとなっている。日をまたぐ施設利用については、会場を1日占有することで他団体の使用が不可能となる

ため5時以降の夜間料金分の費用負担をお願いしている。

【その他の質問】

質問 高額医療費の未支給額が1件当たり3万円ある、対策は。

答 弁 市の広報を活用し幅広く周知したい。

質問 美郷中で、1人でも頑張る生徒をどう励ましていくのか。

答 弁 数ある意見の一つであると受けとめていく。

が、そのままである。

そのために、組織の改編、人件費等を含む経費の削減もできていない。庁舎を統廃合すれば、川島、山川の庁舎を幼稚園・保育所の統廃合に利用ができる。また、イントラネットも施設の一部に有効活用して行くこともできるのではないかと。

給食センターを新たに建てる動きがある、何故厳しい財源の中で建てようとするのか。

土地開発公社を解散して資本金を一般財源化に繰り入れようとしているが、無駄をなくす努力もしないで簡単な方法で片づけようとしているのではないのか以上伺う。

総務部長

庁舎の統合は、行財政改革を押し進めるには必要であり、今後の行政ニーズを視野に入れて考える。イントラネットは、情報ネットワークとして活用している。土地開発公社の解散

は、土地の先行取得を必要とする大規模な事業が現在計画されていない。もし必要であれば、土地開発基金で十分対処ができる。

第一副市長

財政状況が厳しいので、庁舎の一本化については結論を出しにくい状況である。市の総合計画でも新規の建築物については凍結というのが市の方針であり、非常に老朽化した川島中学校と山川中学校は対応をしなければいけないために優先した。

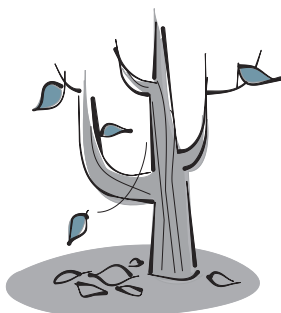
市長

行財政改革については、順次説明をしてきており、計画は順調に推移していると思っっている。庁舎の一本化は、必要と思っっているが、優先順位にもとづけば老朽化した義務教育施設の建築とか改築が必要であり、庁舎の問題はその後の事で、合併特例債の期間内に、この計画を順次進めていきたい。

係を絶やさないように努力していきたい。



廃止予定のこうつの里



審議から

9月定例会では、市長が提案した20議案および、その他3件が提案され、原案どおり可決・承認されました。主な議案は次のとおりです。

有収率が悪い

漏水調査は

(上水道)

決算特別委員会

平成19年度吉野川市水道事業会計決算認定

質問 鴨島町においての石綿管アスベストの取りかえについてはどのようになっているのか、有収率が悪く130万立方メートルもの無駄な水が流れている、山川地区の管網図もできたと聞くので、今後の対策はどのようになっているのか、補てん財源であるが、過去には過年度留保資金を充てていたが、20年度の過年度留保資金はどのようになっているのか、不納欠損が500万円近く計上されているが、この対策について聞きたい。

答弁 鴨島の石綿管は現在西麻植地区で50メートル残っているが、これについては下水事業とあわせて布設がえ工事をする予定となっている。過年度留保資金は、19年度では7749万1379円であったが、20年度は約半分の3247万3384円と見込んでいる。有収率は、昨年度から1.3%下がっていて、19年度に山川町麦原で34キロメートルの漏水調査を実施し、26か所の修繕を行った。本年度は、川島、山

川を重点的に、70メートル程度の漏水調査を実施して、有収率を高める予定である。次に、不納欠損関係では、10月1日に第1回目の給水停止を実施する予定で、年度内にあと2回ほどできればと考えている。徴収についても、徴収月間を設け、12月、3月をめぐりに実施する予定である。

質問 現金預金金が8500万円ほど減少している。この要因は、企業債の借りがえ等であるとのことだが、詳しく説

平成20年9月議会

定例会 議案の

日程：平成20年9月1日～9月24日

明願したい。

答 弁 21企業債の借りがえ等については7%以上の高金利の借入金を低金利に借りがえ繰上償還をするもので、公営企業金融公庫の借入分5935万円は低金利に借りがえ、財政融資資金1億5383万6414円を繰上償還をした。結果、現金預金が増えた。8500万円の減額となった。

◇以上異議なしで可と決定



漏水修理後



漏水修理前（山川町住吉）

滞納は連帯保証人にも通知 (市営住宅)

産業建設常任委員会

平成20年度一般会計補正予算

質問 江川・鴨島公園の指定管理委託業者が辞退したが、その後も公園をきちんと管理しなければいけないが、どこか違うところに委託したのか。

答 弁 指定管理業者が辞退したので、市直営ということで、掃除等はシルバー人材センターを主体としてお願いしている。

質問 江川・鴨島公園について、来年度からは指定管理に出すのか。

答 弁 今は事案について結論を出していないので、来年度は市直営で行きたいと考えている。

質問 住宅電算委託料に997万円とあるが、市税システムの構築はできないのか。

答 弁 公営住宅基本ソフトで住宅情報、収納状況、家賃の計算、敷金情報、駐車場状況、保証人情報の一元化を図る予定であるため、市のシステムでは開発が困難である。

質問 連帯保証人は、家賃滞納者と同等の請求ができると思うので、住宅を貸すときに、滞納したときは連帯保証人に必ず払ってもらうという基準をつくって、不納欠損がないようにすべきではないか。

答 弁 家賃滞納者に向けて督促は頻繁にすることが大事であると考えて、今は連帯保証人の現況調査をして、連帯保証人に通知を送る準備をしている、不納欠損については基本的にやっていない。

質問 今までの家賃滞納額はどれくらいあるのか。

答 弁 6000万円程度である。

土地改良事業計画の変更について

質問 長塚水路の反対があったが、流末側の人たちが、地元長塚の人たちにとっては、してもらわなければ困るため、廃止でなく変更の余地はないのか。

答 弁 国道から北側の水がたまりやすい箇所の排水計画を実施したい思いがあったが、長塚地区の計画の中で受益者面積が実質的に足りず、2ヘクタール以上なければいけないとの基準があり、西と東の高低差があり、下流域の問題もあるため廃止した。

◇以上異議なしで可と決定



雨水排水工事が待たれる川島地区

障がい者福祉 計画は！

文教厚生常任委員会

平成20年度一般会計補正予算

質問 障害者福祉費の障害者計画・障害福祉計画策定業務委託は、どのような業者に、どのような計画書の策定を委託するのか。

答 弁 障害者福祉計画は、第1期が18年から20年、第2期が21年から23年と3か年で見直すこととなっており、12月には障害者自立支援法の改正につき国の方向性がまとめられるようで、これを受け、各障害者団体にヒアリングをしながら見直しを進めていきたい。ま

た業者については、前回の5業者を指名し、プロポーザル方式で決定したい。

質問 障害福祉計画策定業務は、特殊な業務であると思うが、国の指定した業者なのか。また財源は一般財源であるが、交付税に算入されている事業であるのか、交付税等の縛りがないのであれば、本市の現状に即した計画を策定すべきでないか。

答 弁 業者については

国の指定した業者でなく、実績のある業者を指名している、交付税については算入されていると思われる。策定については障がい者団体等の意見を聞きながら進めていきたい。



市立鴨島保育所の指定管理者の指定について

質問 指定管理者の決定において、ひかり乳幼児保育園に決定した最大の理由は、また特別保育の拡充がなされると思うが、経費について市の負担はふえる可能性はある

のか。

答 弁 選定委員会においてひかり乳幼児保育園が特別保育で、一時保育、土曜日の時間延長、病後児保育等の充実した提案

があり決定した、委託料については国の基準によって支払うようになるので、特別なものはない、特別保育においても補助金があるので、市の加算はない。

山川中学校改築工事請負契約の締結について

質問 契約書の中に解体工事に関する費用等があるが、請負代金の中に旧校舎の解体費用は入っているのか。

答 弁 解体工事を含んだ請負代金である。

◇以上異議なしで可と決定



山川中学校起工式



市民会議の提言書 を生かせ！ (ゴミ減量)

環境対策特別委員会

一般廃棄物減量計画と中央広域環境センターへの搬入経路について

質問 ごみの減量化は、CO₂の排出を減らし地域環境に配慮することと、財政的な見地から歳出の削減ができることの2つの目的があると考えられている。そこで本市における減量化の具体的な計画はどのように進めているのか。

答弁 計画については、平成19年度の実績で8655トンを基準として、平成22年度には6907トンまで減量する計画である。目的達成

のために現在までに広報「よしのがわ」に啓発記事の掲載、段ボールコンポストの紹介パンフレットの全戸配布、公民館や集会所、市職員に対し段ボールコンポストの講習会を実施してきたが、効果はまだあらわれていない現状である。

質問 この計画で減量化すると、中央広域に鴨島分を含めごみを搬入した場合に、ごみ量負担割合の推移はどのようになるのか。

答弁 平成19年度実績から単純計算すると、ごみ料は1トン当たり4万3000円であるので、約5000トンの減量すると約2000万円の負担減額となる計算になるが、詳細には計算していない。

質問 ごみを減らすことは、即負担金額の減額につながるものである。このため市民会議で提言書がまとめられたものであり、この提言書の内容を具体化した減量計画で

なければならぬ。本計画は県の減量計画を引用しており、年間5000トンの減量化が妥当であったか疑問である。市民会議の提言書は立派にできているので、これに沿った計画に見直すべきであると考えらる。

答弁 提言書の内容に基づき計画の見直しをしていきたい。また計画の中に公民館活動や各種団体の会合などに出向き、減量化の講習会、ケーブルテレビなどを活用したPR、段ボールコンポスト普及推進委員の組織化



段ボールコンポストの説明会

などを計画に盛り込み、ごみ減量化の普及活動を進めていきたい。

質問 ごみ集積所以外の収集場所アルミ缶などを持って帰る業者が多くなってきているが、対策をどう考えているのか。

答弁 職員が朝の6時30分ごろからパトロールを実施したり、警察署に相談をしているが、なかなか防止することができない状況である。



電算システムについて協議

総務常任委員会

平成20年度一般会計補正世予算

質問 総務費の戸籍基本台帳費委託料について、機械の限度を5年としているのか。

答弁 5年を区切りとしており、メーカー側はこの期間を逃すようであれば機器の部品が提供できない。特にこの戸籍システムについては、膨大な量が入っている関係上、サーバーが壊れた場合に対応できない。今年度末で6年が経ち、来年度の新たな構築に向けて補正予算をお願いしている。

質問 清掃費の設計委託料の内容は。

答弁 焼却施設内の合併浄化槽整備の設計委託料で、焼却炉を停止すると現行の浄化槽は使えなくなるためである。実施する際はなるべくコンパクトにし、安価に抑えたいと考えている。

質問 戸籍だけではなく、ほかの部局のパソコン機器の改修やシステム保守の期限が切れる時期で、莫大な金額の補正が必要とされ、計上されている。

革を考えるのであれば、機械を導入しても人人体制も変わらないといった相反することになるのはいかなるものか。

答弁 電算システムについては、購入するものとリースするものがある、各部・課のシステムについて資料を整理して、まとまり次第委員に提供したい。

質問 公的年金からの特別徴収の内容は。

答弁 公的年金は社会保険庁が保険者となっており、国民年金及び厚生年金等であり、ことしの6月議会では法改正による条例改正もしている。公的年金部分から特別徴収できるもので、年金に課せられる税金のみが対象である。

質問 システム改修委託料について2100万円も改修費がかかるものなのか。システムに関してすぐれた専門家を採用し人件費に置きかえるほうが、このような多額な金額にならないのではないか。

答弁 この改修は税制上法的な制約が非常に複雑でたくさんある。ノウハウを持った業者に委託するのが一番よいと考える。

◇以上異議なしで可と決定

意見書

▼新たな過疎対策法の制定に関する意見書

■提出議員

細井英 輔議員

▼地方道路整備の促進と道路整備財源の確保を求める意見書

■提出議員

玉水好夫 議員

人事

農業委員会委員
議会推薦

- ・野上 功子
鳴島町上浦915番地
- ・大久保 賢一
川島町三ツ島字水沼野95番地
- ・岸上 勝
山川町川田561番地
- ・上岡 宏
美郷字峠271番地

追悼



●9月5日に谷田義一議員が逝去されました。謹んでご冥福をお祈りいたします。



鳴島環境センター内の污水处理施設



クイズ

読み方を答えてください

- ① 恰幅の良い紳士
- ② 骨折り損の草臥れ儲け
- ③ 袈裟と衣は、心に着よ
- ④ 旅先で偶買った絵
- ⑤ 箱から徐に取り出す
- ⑥ 離れていると一入恋しさが募る
- ⑦ 出かけるのが億劫だ
- ⑧ ご親切誠に辱く存じます

◎ (前回の答え)

兄、由、申、只、甲、石、右、史、四、加、旧、目、旦、占、古、台…

応募総数は118通でした。

◎ 正解者の中から抽選で10名に記念品を進呈します。

◎ 応募要領／はがき、またはファックスに答えて住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、議会事務局まで お送りください。

◎ 送り先／〒776-8611

吉野川市鴨島町鴨島115-1

TEL 0883-22-2241

FAX 0883-22-2242

◎ 締め切り日／平成21年1月10日



チョットひと言

・子どもが生まれて毎日忙しくしているの、自分の時間が全くもないのですが、このクイズだと、育児の合間合間にすることができて、ちょっとした息抜きになってよかったです。

(鴨島町 山田さん)

・表紙の目次に「クイズ」と書いてあったので興味を持ち挑戦しました。楽しく知識を増やせてよいと思います。次の「議会だより」がとても楽しみです。

(鴨島町 川真田さん)

議員紹介



川村洋樹 議員

産業建設常任委員

本会議・委員会の傍聴をしませんか

皆さんが選んだ議員の活動や行政が今、どのようなことを行っているかを知っていただくために、本会議などの議会の傍聴をしませんか。どなたでも傍聴できます。お気軽にお越しください。



TEL 22-2241

本と銅像

山川町川田 原田 親光

「市議会だより」で「図書購入予算措置率」の質問に関心の深さを知り心強かった。吉野川市は小学校31%、中学校25%であり図書費の一般財源化でしだいに減少しつつあるとは残念だ。夕刊でも県立図書館の本が少なくなりつつあることを憂えていた。法では「各学校

には司書教諭を置くこと」としているが「当分置かなくてよい」と但書では夢のまた夢だ。こどもは初めて感動した本は生涯忘れられないのだ。香川・高知を旅し銅像の多さに気づく。先人の偉業への地域の人々の感謝の表れで本県は少なく淋しい。かつて、藍作りの売り込みは一刻も早さを要し抜けがけの心をつくった。また後輩の世話をせず返ってけ落とすとの評もある。男性の消極的非協力がダサイともいわれる。だが、交通事情もよくなり、阿波踊りの躍動で打破したい。そのためにも銅像は多くあるほうが望ましい。

市民のページ

政治に福祉の心を

鴨島町飯尾 大草 善 衛

65才以上の高齢者がだんだん増えている。2005年度でも、全国で2470万人、19・1%、2020年度では3270万人、25・5%になると予測されている。吉野川市は現在、12878人、28・1%と全国平均を大きく上回っている。内、介護認定者は、1867人、要支援者は1001人、高い介護保険料を差っ引かれても、1割の負担が払えずに利用ができない者も多いと聞く。福祉対策のなかでも、介護の問題は重要な課題である。

私が鴨島町議をしていたとき、介護手当の支給を実現させたいと、議会でも何度も質問したが「検討はする」とは答弁するが、一向にしようとしない。そこで署名をとり、議会請願を採択させたが、なお実施しようとしていない。やむを得ず議員提案で条例を出すことにした。県下で北島町、藍住町などがすでに実施していた。条例を取り寄せ、年10万円を、在宅介護者に支給するというもの。議員の質問に答弁しなくてはならないので、なかなか大変であった。最終町長が「10万円は出せないで1万円にしてほしい。余裕ができたら増やすので条例を取り下げてほしい」との条件が決められる。議会で可決される保証もないので、町長提案をのんだ。かくて、鴨島町介護慰労金支給条例が成立した。

麻植郡4か町村の合併は、平成の大合併徳島県

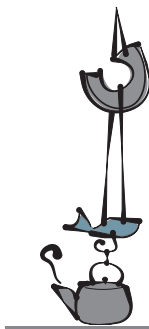
下第一号として花々しく出発した。事前説明会では、負担は低い方に、サービスは高い方に合わせるといつていた。ところが、苦勞してつくった、鴨島の介護慰労金制度、ほかが出来ないからと、早々に打ち切ってしまった。それも、支給停止した後から条例廃止するというやり方で。残念、無念の思いは、いつまでも消えることはない。住民への約束とは守ってられないものである。

商業も農業も壊滅寸前にある。その振興策は急務である。教育も大切である。高齢者社会への対応はじめ、障害者などの福祉の充実、行政に欠かせない課題である。「福祉の心」をもってすすめるよう切望する。

本市には、政治家としての芳川顕正伯（原田姓）の生家が保存されている。七度、大臣となり文部大臣のとき「教育勅語」の発布にたずさわった。敗戦で憲法は主権在民となり前文と反したが国民の規範としての内容は人間遵守の倫理だ。また、私の家の先祖代々の墓は「南無阿彌陀佛」と鴨島町森藤出身の「泉知等大僧正」の書である。古義真言宗三派管長として名声は高く吉野川公園

の坐像がある。「あなたを苦しめるのはあなたの心」だの教えを孫と共に復習したものだ。

私ごとだが書棚には義兄の西田哲学の全集が揃っている。京大で哲学を専攻し卒業論文は「自己存在」である。西田哲学は難解で理解しにくいとその背の金箔を見ていると学問への興味が出る。孫は小学生の時、芳川顕正伯の伝記を読み、その感想を夜更けまで目をして書いてまとめた。その体験が理学部博士課程で学ぶ気をつくったようだ。人は人によって触発され立志に目覚めるといえる。



市民の皆さんの声を掲載

市政についての苦言やアイデア、趣味や人生観など多岐に渡って文章を募集します。ファックスでも結構です。

：規定：

● 原稿用紙2枚以内（400字詰）
住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記（匿名の場合も）

：あて先：

● 締め切り

〒776-8611

平成21年1月10日（消印有効）

吉野川市鴨島町鴨島115番地1

* 投稿多数等で掲載できない場合は、

TEL0883-22-2241

ご容赦ください。校正等は、吉野川

FAX0883-22-2242

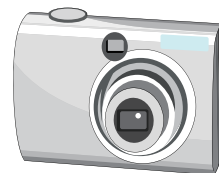
市議会広報特別委員会で行います。

募 集 要 項

- テ ー マ** 吉野川市で撮影した季節の風景や祭り、行事など
- 規 定** モノクロ及びカラープリント2L判～四切・W四切組写真も可（3点まで）住所・氏名・電話番号・題名を明記。
- 締め切り** 平成21年1月10日（消印有効）
発行は2月です。季節感のあるものをお願いします。
- そ の 他** 作品の返却は行いません。採用された作品の使用及びトリミングなど加工については、吉野川市議会広報特別委員会に帰属することをご了承ください。
- 応 募 先** 〒776-8611 吉野川市鴨島町鴨島115番地1
TEL (0883) 22-2241
FAX (0883) 22-2242

募 集

表紙の写真

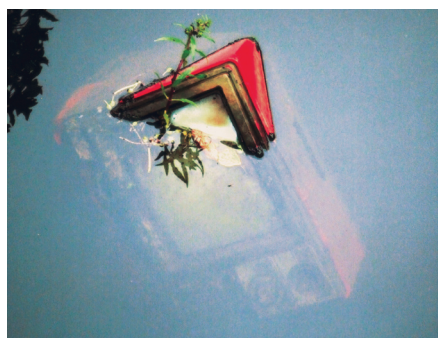


あとがき

テレビの一生

NHKが最初にテレビ放送をはじめたのが、昭和28年2月1日、その時のテレビは1インチ1万円といわれ、当時一般家庭のテレビで17万円から23万円していた。ちなみに、この年の大学新卒者の初任給は8190円であった。それから55年の今、テレビは家庭の必需品となり、家庭に明るさ

と楽しみをもたらせている。しかしテレビにも寿命がある。その後のテレビの行く先はリサイクルされ生まれ変わり、人間の生活の助けになるものと思われるが、かわいそうな姿となるテレビもある。上浦の小さなため池に、助けを求めているのか、ここを自分の最後の場所と思っているのか、さみしそうにテレビがこちらを見つめて浮



池に捨てられたテレビ（上浦のため池）

かんでいる。何もできない自分がそこにいるのがなさげなく感じる。

横納 謙司

